

マネジメント

日本の読者へ

基本とすべきものがある、原則とすべきものがある
状況に応じて適用していかなければならない。
基本と原則に反するものは、例外なく時を経て破綻する。

社会と経済の健全さは、マネジメントの健全さによって左右される。
発展途上国なる国は存在せず、マネジメントの発展途上段階にある国があるだけ。

直面する課題、問題、意思決定に適用すべき基本と原則は何かを徹底して考える。
自らの前にある機会と挑戦は何か？
自らの拠り所、指針とすべき基本と原則は何か？

世界中の先進社会が転換期にあるなかで、日本ほど大きな転換を迫られている国はない。

まえがき なぜ組織が必要なのか

組織に成果をあげさせるものがマネジメント。
マネジメントを外から見る (使命・目的・役割)
課題にいかなる次元 何が要求されるか？
マネジメントのための組織と仕事を見る
トップマネジメントと戦略を見る

組織は3種類

- ゲマインシャフト
- ゲゼルシャフト
- パーソナルシャフト

ゲマインシャフト 全員共有	人格的	精神的	家族	精神的結合
	融和的		宗教	
	互惠的			
	情緒的			
ゲゼルシャフト 目標達成組織	合目的	機能的	官僚	企業
	競争的		軍隊	
	打算的			
	計数的			

目的

人間は一瞬たりとも希望と信頼なくして、人間らしく生きていけない。
希望ない人生はありえない！！

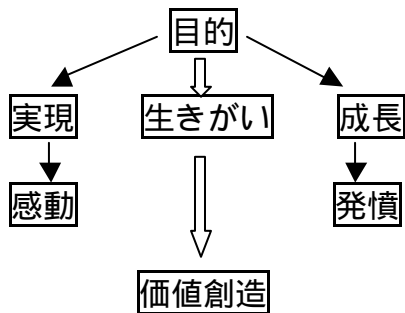
リーダー

自分の考え、価値観、目的を言語で表現・伝える。
旗を掲げる（裏付け） 理想や目的を表示。

人生最大の目的 = = = 何の目的かと説明（確信）出来る時
目的 あらゆる聴いた人が感動する事

目的

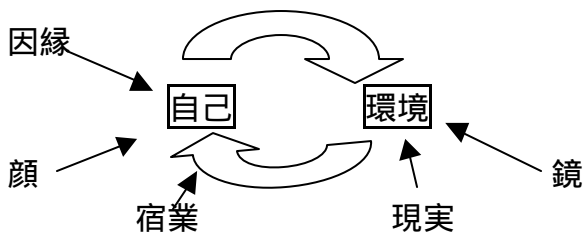
未来先取り現状打破・理想実現のゴール
共感・感動
全体着眼・現状打破
全員共有



目標

過去の延長・目的を実現する手段
克服・障害
部分着手・現状肯定
全員分有

目標 必達目標 = 当面目標・先行き目標
高い目標ほど達成率が高くなる



序 新たな挑戦

先進諸国 組織社会（被用者社会）

市民 = 被用者。組織を通じて働き、組織に生計の資を依存し、組織に機会を求める。

マネジメントなしに組織はない

組織が機能するにはマネジメントが成果をあげなければならない。

マネジメントは成果に対する責任に由来する客観的な機能。

マネジメント・ブームの終わり

7つのコンセプト

生産性向上のための科学的管理法

組織構造としての連邦分権組織

人を組織に適合させるための人事管理

明日のためのマネジメント開発

管理会計

マーケティング

長期プランニング

新しいニーズの出現

起業家的な活動やイノベーション、新しいものの創造

そのための組織をつくり、動かすことを学ばなければならない。

イントレ（アントレ）プレナー、真のプロフェッショナル

企業以外の組織をマネジメントし、成果をあげさせる。

官僚組織の破壊、NPO = 成果（効果・効率）を上げる必要

知識労働者の生産性向上

肉体労働者は過去のもの。

コストセンター 投資

体系的な教育、すなわちコンセプトと理論によって働く。

企業のグローバル化

社会の願望、価値、存続そのものが、マネジメントの成果、能力、意思、価値観に依存する。